

平成 23 年度

大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程
一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜

学 生 募 集 要 項

日本獣医生命科学大学

NIPPON VETERINARY AND LIFE SCIENCE UNIVERSITY

平成 23 年度
日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科
応用生命科学専攻博士後期課程学生募集要項

【理念・目的】

応用生命科学専攻博士前期・博士後期課程は、21 世紀における生命科学、環境科学、食品科学新時代の開拓者として必要な、広い知識と技術能力を備えた高度な動物及び食品科学の専門職、研究者並びに教育者の育成を構想した大学院教育を行う。

1. 募集人員

専攻	募集人員
応用生命科学	2 名

2. 専門分野及び研究指導分野

専門分野	研究指導分野
応用生命科学分野	動物資源生産科学
	動物機能学
	食品機能開発学
	応用食品化学

〔注意事項〕

- ① 詳細は付表の「専門分野の概要」及び「研究指導分野一覧」を参照して下さい。
- ② 出願に際しては、希望する研究指導分野の指導教授（指導教授については付表 2 の「研究指導分野一覧」に記載）と事前に相談し、その指導を受けて下さい。

3. 出願資格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者及び平成 23 年 3 月取得見込みの者
- (2) 文部科学大臣の指定する者（平成元年文部省告示第 118 号）
- (3) 外国において修士に相当する学位を授与された者
- (4) その他本大学院において、(1) に該当する者と同等以上の学力があると認められた者

〔注意事項〕

社会人特別選抜制度で受験する場合は、上記 (1) ～ (4) のいずれかの条件を満たし、かつ、企業、国又は地方公共団体等に勤務し、その身分を有したまま大学院学生となることを所属長から許可された者、又はこれに準ずる者と本学大学院において認められた者

(※出願を希望する者は、あらかじめ志望する研究指導分野の担当教員の了解を得て下さい。)

4. 願書受付期間

第1次募集	平成22年9月1日（水）～9月14日（火）
第2次募集	平成23年2月1日（火）～2月10日（木）

- 〔注意事項〕 ① 第1次募集で定員を満たした場合、第2次募集は実施しない。
 ② 受付時間：平日（月曜～金曜）午前9時から午後5時まで

5. 出願手続等

- (1) 出願書類は一括して、検定料 20,000 円（現金又は郵便為替）を添え、本学大学院課へ提出して下さい。
 (2) 出願書類等

出願書類等		摘 要	提出部数
1	入 学 願 書	本学所定用紙 ・ 本籍（国籍）欄は、都道府県名のみを記入して下さい。外国籍の方は国名を記入して下さい。	1 部
2	写 真 票	本学所定用紙（カラー写真） 上半身脱帽で、出願前3ヵ月以内に撮影した縦3cm×横3cmの裏に氏名を記入して、全面糊付けして下さい。	1 部
3	受 験 票	本学所定用紙	1 部
4	卒業（見込）証明書等	出身大学及び大学院	各1部
5	成 績 証 明 書	出身大学及び大学院 ・ 外国文の場合は必ず日本語の訳文を添付して下さい。	各1部
6	履 歴 書	本学所定用紙 写真については、カラー写真で上半身脱帽、出願前3ヵ月以内に撮影した縦3cm×横3cmの裏に氏名を記入して全面糊付けして下さい。学歴記入の欄については、高等学校卒業から記入して下さい。 ・ 本籍（国籍）欄は、都道府県名のみを記入して下さい。外国籍の方は国名を記入して下さい。	1 部
7	自 己 紹 介 書	本学所定用紙	1 部
8	志 望 理 由 書	本学所定用紙 大学院で勉強・研究を行いたいと考えた動機及び目的を記載したもの。	1 部
9	研 究 計 画 書	本学所定用紙 大学院で研究しようとするテーマ及び内容を記載したもの。 ・ 学術雑誌への公表論文、各種機関や企業等の報告書及び学会発表要旨等を添付することができます。	1 部
10	業績報告書又は小論文 （社会人・外国人留学生 特別選抜のみ提出）	書式は任意でよいが、A4判にて、小論文においては1000文字程度にまとめて下さい。また、英文においては500語程度でまとめて下さい。	1 部

11	指導教授の承諾書	本学所定用紙 本学の指導教授が直接記入のうえ厳封したもの。	1部
12	※推薦書	本学所定用紙 出身大学の指導教員又は、官公庁、企業等の直接の指導者が作成したもの。	1部

※官公庁、企業等に在職のまま入学しようとする者は、推薦書を必ず提出して下さい。

〔注意事項〕

官公庁、企業等に在職のまま入学しようとする者は、入学手続きの際に、所属長又は代表者の「入学承諾書」を必要とするので、あらかじめ用意しておいて下さい。

6. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜

学力（筆記）試験〔英語（英文和訳 ※辞書持込不可）、専門科目（研究指導分野 1科目）〕、面接、成績証明書の内容を総合して行います。

(2) 社会人特別選抜

面接、推薦書、成績証明書及び業績報告書、又は小論文の内容を総合して行います。

(3) 外国人留学生特別選抜（書類審査のみ）

志願理由書、成績証明書、業績報告書、又は小論文の結果を総合して行います。

〔注意事項〕

研究指導分野の専門試験科目等、その詳細については付表の「研究指導分野一覧」を参照して下さい。

7. 試験日時及び試験場

試験日時		時間		試験場
第1次	第2次			
平成22年 10月5日（火）	平成23年 3月3日（木）	学力試験	10:00～12:00	本学 第一校舎
		面接試験	14:00～	

8. 合格発表

第1次 平成22年10月7日（木）午前10時

第2次 平成23年3月7日（月）午前10時

本学の大学院掲示板に掲示するとともに、合格者については本人宛に通知します。なお、電話等による照会には一切応じません。

9. 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知書とともに郵送する、「入学手続方法について（博士後期課程）」を参照して下さい。

(1) 入学手続期日

第1次 平成22年10月7日（木）～平成22年10月20日（水）

第2次 平成23年3月7日（月）～平成23年3月18日（金）

- (2) 提出書類
- | | |
|---|----|
| ① 住民票（本籍記載のあるもの）又は住民票記載事項証明書
（外国人は外国人登録済証明書で出願前3ヵ月以内に発行したもの） | 1部 |
| ② 保証書 | 1部 |
| ③ 修了証明書 | 1部 |
| ④ 写真（カラーで上半身・脱帽正面 縦3cm×横3cm） | 2葉 |
| ⑤ 入学承諾書（社会人特別選抜制度による入学者のみ提出） | 1部 |
- (3) 納入金
- | | |
|-----------|--------------------|
| (イ) 入学金 | 200,000円（本学出身者は免除） |
| (ロ) 授業料 | 680,000円 |
| (ハ) 実習費 | 150,000円 |
| (ニ) 厚生福利費 | 15,000円（初年度のみ） |

[注意事項]

納入金は、原則として年額を一括納入することとします。ただし、授業料及び実習費は、前期、後期の2期に分けて納入することができます。

10. 入学辞退

入学辞退による授業料等納入金の返還について

入学手続を完了した後に入学を辞退する場合は、入学金を除く納入金を返還します。

ただし、入学辞退による納入金の返還請求期限は、平成23年3月31日（木）午後4時までとします。

11. 奨学金制度等

(1) 大学院アシスタントシップ（ティーチングアシスタント）制度があります。

平成22年度採用実績 4名

(2) 大学院学生に対する日本学生支援機構の奨学金制度があります。

平成22年度現在奨学金受給者 1名

12. 問い合わせ先

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1丁目7番1号

日本獣医生命科学大学 事務部大学院課

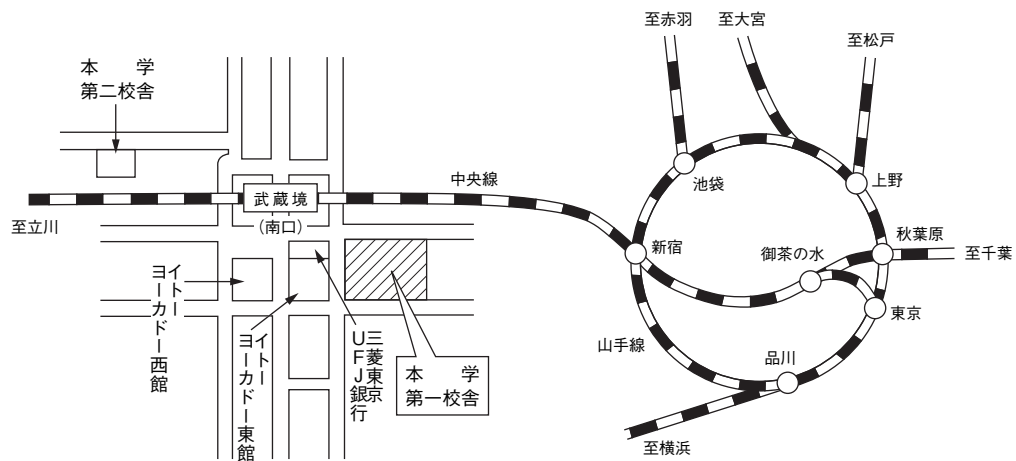
TEL 0422-31-4151（代） FAX 0422-33-2094

13. 日本獣医生命科学大学ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.nvlu.ac.jp>

14. 獣医生命科学研究科の所在地



15. 個人情報保護について

本学大学院の入学試験関連資料の請求及び入学願書出願にあたってお知らせいただいた氏名・住所・電話番号等の個人情報については、研究科資料、合否判定資料、入学手続の通知及び統計的資料作成を行うために利用します。これらの個人情報については、上記に明示する用途のみに使用し、その範囲を超えて利用することはありません。

獣医生命科学研究科応用生命科学専攻専門分野の概要

専門分野	研究指導分野	教育・研究内容	構成教室／研究室
応用生命科学分野	動物資源生産科学	本分野は動物の生産と資源利用の分野からなり、動物生産分野では、肉牛、乳牛、家禽、実験動物などの動物の栄養生理、物質代謝、エネルギー代謝、生産性、生産病、食品安全性の確保などに関する課題について、動物資源利用分野では、乳および乳製品、特にチーズの加工に寄与する酵素特性の解明および酵素を利用した新規食品素材の開発に関する課題を、本学学術研究機関の設備を含んだ最先端の技術と設備を活用して研究する。実際の産業動物を用いた高度技術習得のために、海外や国内の研究機関や産業界との交流研究も行う。理論の構築と成果のまとめ方、発表方法を体得し、研究成果を論文として完成させる。応用生命科学分野で創造的に活躍できる人材を養成する。	動物栄養学教室 動物生産化学教室 乳肉利用学教室
	動物機能学	動物の成長、繁殖、環境適応等の生体機能の内分泌系、神経系、免疫系ならびに生殖機能系による分子、細胞、個体レベルでの調節機構を解明するため、遺伝子工学、細胞工学の手法を用いて研究を行う。そのため、関連する分野の最先端の知見が掲載されている論文を取り上げ、その内容について討議、考察を行い、研究の立案、遂行に必要な知識を修得させる。また、研究の遂行にあたって生じる問題点の解決法について討議を行い、研究成果を論文として完成させる。応用生命科学分野で創造的に活躍できる人材を養成する。	動物生理制御学教室 実験動物学教室 動物生殖学教室
	食品機能開発学	食品および食品素材が有する加工特性、食味特性、生体調節特性に着目し、高品質の食品創製を目指す課題を実施する。本分野では、食品中のペプチドやアミノ酸等有する生理機能ならびに生体調節機能の探索・解明と新規食品素材への応用、食品の咀嚼中の味成分溶出や香気成分放散の解明および嚥下機能との関係、食品殺菌加工後の食品の物性変化のメカニズム解明、さらには、食品摂取後の腸内細菌叢の構成や食品の機能を解明し、プレ（プロ）バイオティックスの腸内環境に及ぼす影響などに関連する高度な教育と研究を行う。その成果を論文として完成させる。応用生命科学分野で創造的に活躍できる人材を養成する。	食品機能化学教室 食品衛生学教室 食品工学教室
	応用食品化学	動物性ならびに植物性食品の栄養性、嗜好性、機能性に関する食品成分の構造と機能に係わる化学的研究およびそれら成分の消長・変化に係わる合成・分解酵素に関する酵素科学的研究を中心に研究課題を与える。研究内容に対する深い洞察力を養い、実験方法や実験結果および考察などの十分な討議を通して、研究成果を論文として完成させる。応用生命科学分野で創造的に活躍できる人材を養成する。	農産食品学教室 食品化学教室

研究指導分野一覧

専門分野	研究指導分野	専門試験科目	指導教員氏名 (所属教室)	研究内容
応用生命科学分野	動物資源生産科学	動物生産化学	太田能之 (動物生産化学教室)	栄養素の効果と作用機序とを明らかにし、動物飼育現場での応用技術を開発することまでを目標とする。
		乳肉利用学	阿久澤良造 (乳肉利用学教室)	乳および乳製品の風味、組織形成に寄与する酵素および新規乳成分素材に関する研究
	動物機能学	動物生理制御学	田中実 (動物生理制御学教室)	脳機能およびエネルギー代謝の内分泌制御機構の分子生物学的研究
		実験動物学	天尾弘実 (実験動物学教室)	抗酸化酵素 SOD 活性と腸内細菌の相互関係の解明
		動物生殖学	牛島仁 (動物生殖学教室)	生殖工学を用いた哺乳動物の受精・発生機構の解明に関する研究
	食品機能開発学	食品機能化学	西村敏英 (食品機能化学教室)	食品並びに食品成分の生理機能と生態調節機能に関する生化学的研究
		食品衛生学	藤澤倫彦 (食品衛生学教室)	腸内細菌の機能に関する研究
		食品工学	小竹佐知子 (食品工学教室)	香気成分放散ならびに調味料成分拡散
	応用食品化学	農産食品学	麻生慶一 (農産食品学教室)	植物酵素・タンパク質の構造と機能解析ならびにその応用
		食品化学	松石昌典 (食品化学教室)	食品のおいしさ原因成分とその生成機構の解明ならびにそれらの応用に関する研究

**平成23年度
日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科
応用生命科学専攻博士後期課程入学願書**

平成 年 月 日

日本獣医生命科学大学長 殿

貴大学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程に入学したいので、所定の書類を添え出願いたします。

ふりがな 氏名	(印)	本籍 (国籍)	都・道・府・県	受験番号	※
生年月日	年 月 日生 (男・女)				
現住所	〒 電 話 () 携帯電話 () F A X () E-mail				
合格通知 連絡先	〒 電 話 () 携帯電話 () F A X () E-mail				
出身大学	大学	学 部 学 科	年 月 卒業・卒業見込		
	大学大学院 修士課程	研究科 専 攻	年 月 修了・修了見込		
受験科目	外国語	英 語	専門試験科目		
志望する教育 研究指導分野名					
卒業論文又は 修士論文等題目	(指導教員氏名)				
職 歴 (ある場合)					
学費負担者	氏名		本人との 関 係		

- (注) 1. 記入の際には黒のペン (ボールペン等) を使用して下さい。
2. ※欄は記入しないで下さい。
3. 選択項目は○で囲んで下さい。
4. 住所欄は正確に記入し、〇〇マンション〇〇号室等まで記入して下さい。

会 計 印

**平成23年度
日本獣医生命科学大学大学院
応用生命科学専攻博士後期課程
写 真 票**

受験番号	※
(3cm×3cm)	
氏 名	
生年月日	年 月 日生

※欄は記入しないで下さい。

平成 年 月撮影

**平成23年度
日本獣医生命科学大学大学院
応用生命科学専攻博士後期課程
受 験 票**

受験番号	※
氏 名	
受付印	会 計 印
受験票は必ず試験場に 持参すること。	

※欄は記入しないで下さい。

受験番号	※
------	---

履 歴 書

平成 年 月 日現在

写真貼付欄	ふりがな			性別
<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;">(3cm×3cm)</div>	氏 名	Ⓜ		男・女
	生 年 月 日	年	月	日生 (満 才)
	戸 籍 筆 頭 者			続柄
	本 籍 (国 籍)	都・道・府・県		
ふりがな				
現住所	〒 マンション・寮・荘・アパート 号			
電 話	() -	携帯電話	() -	
F A X	() -	E-mail		
年 号	年	月	学 歴	
			高等学校卒業	

(日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程)

- (注) 1. 記入の際には黒のペン (ボールペン等) を使用して下さい。
 2. 学歴は高等学校卒業から記入して下さい。
 3. ※欄は記入しないで下さい。

受験番号	※
------	---

自己紹介書

平成 年 月 日現在

研究科	大学	ふりがな				
	専攻	氏名	⑩			
平成 年 月修了・修了見込		生 年 月 日	年 月 日生 (満 才)			
ふりがな						
連絡先	〒					
	マンション・寮・荘・アパート					号
電 話	()	-	携帯電話	()	-	
F A X	()	-	E-mail			
得意科目 (研究テーマ)						
自覚している長所 (特に強調したい事項)						
課 外 活 動						
所属研究室	指導教員名：					
趣味・特技						
免許 ・ 資格						
家 族 構 成	続柄	氏 名	年令	続柄	氏 名	年令

(日本獣医生命科学大学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程)

- (注) 1. 記入の際には黒のペン (ボールペン等) を使用して下さい。
 2. ※欄は記入しないで下さい。

受験番号	※
------	---

平成 年 月 日

日本獣医生命科学大学長 殿

研究指導分野

指導教授氏名

⑩

指 導 承 諾 書

下記の者が、本学大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程に入学を許可された場合には、在学期間中における、実験・研究および論文作成等の指導を責任を持っていたします。

記

1. 受験生氏名
2. 研究分野

- (注) 1. ※欄は記入しないで下さい。
2. 在学期間中指導教授が退職等により、継続して指導を続けることが不可能と予め判明しているときは、残存期間の指導教授を定め、「引き継ぎ指導承諾書」を提出して下さい。

受験番号	※
------	---

社 会 人 入 学 推 薦 書

平成 年 月 日

日本獣医生命科学大学長 殿

推薦機関

所在地

機関名

代表者名

①

記載者氏名（役職）

①

下記の者は、貴学の大学院獣医生命科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程社会人入学志願者として適当と認め責任を持って推薦いたします。

ふりがな	機関名	
氏 名		
生年月日 年 月 日生		

（推薦理由）

1) 適当と認める理由

2) 修了後に期待すること

（注） ※欄は記入しないで下さい。